

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	音環境規準検討小委員会	主 査 名：池上雅之 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：秋元孝之 主 査 名：坂本慎一
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	音環境に関する日本建築学会環境基準 (AIJES) 作成・改定の全体マネジメントを行う。 初年度：「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」に関する課題検討、AIJES「学校施設の音環境保全規準・設計指針」の改定、AIJES「スピーチプライバシーの評価規準と設計指針 ― 音声による情報漏洩防止」の策定作業のフォロー 2～4 年度：作成・改定すべき対象・スケジュール・体制の検討・決定、企画刊行運営委員会移行後・解散後のフォロー、その他音環境規準の作成・実施	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：池上雅之 (大林組) 幹事：平光厚雄 (建築研究所)、田中 学 (日本建築総合試験所) 委員：青木亜美 (日建設計)、井上勝夫 (日本大学)、岡野利行 (竹中工務店)、古賀貴士 (鹿島建設)、佐久間哲哉 (東京大学)、佐藤 洋 (産業技術総合研究所)、清水 寧 (Sound/Form Design Lab)、田端 淳 (大成建設)、濱田幸雄 (日本大学)、平松友孝 (音・環境研究所)、宮島 徹 (清水建設)、吉村純一 (小林理学研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	集合住宅音環境 AIJES 検討 WG：集合住宅の AIJES の内容の検討	
2022 年度予算	55,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2022 年度は以下のように活動し、当初の予定を達成した。 1. 集合住宅の音環境の AIJES 刊行を目指し、2022 年 4 月から集合住宅音環境 AIJES 検討 WG を立ち上げて、具体的な内容の議論を進めた。また以下の公開意見交換会を実施し、検討状況を報告して広く意見を聴取した。 2022/11/25 開催 公開意見交換会「集合住宅音環境 AIJES 検討 WG でのこれまでの検討状況と今後の予定」参加者数 55 名 2. 集合住宅の次の用途軸の AIJES 策定のため、事務所を対象に昨今の音響的な課題を抽出した。また用途軸・技術軸で音環境の AIJES を整備する方針を改めて確認し、音環境の AIJES 全体の刊行後のイメージを共有した。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2022 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div>
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2022 年度は以下の状況より、当初の活動計画を上回る形で実際の活動が進んだため、評価を A とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集合住宅の音環境の AIJES 刊行を目指し、2022 年 4 月から集合住宅音環境 AIJES 検討 WG を立ち上げて、具体的な内容の議論を進めた。また公開意見交換会を実施し、検討状況を報告して広く意見を聴取した。 2. 集合住宅の次の用途軸の AIJES 策定のため、事務所を対象に昨今の音響的な課題を抽出した。また用途軸・技術軸で音環境の AIJES を整備する方針を改めて確認し、音環境の AIJES 全体の刊行後のイメージを共有した。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。